

ねあらい
学園だより

浜松市根洗学園
住所：〒433-8108
浜松市北区根洗町667-1
TEL:053-436-9318
FAX:053-436-9326

在籍児 69名（3月22日現在）
◇毎日通園
年長児20名 年中児23名
年少児23名 2歳児3名
◇選択通園 らいおん11名 にじ25名
フレンズ18名 子じか128名
◇保育所等訪問事業 160名



年度の終わりに



今年は20人の年長さんの卒園、39名の子どもたちが進級し、園児9名が転園、と次年度への進路が決まり、今年度を修了することができました。

職員たちは卒園・転園・進級する、すべての子どもたちへのアルバムの作成をしています。1年分の子どもの写真を整理し、一番〇〇ちゃんらしい写真を選んでいきます。こちらがほほ笑んでしまう写真もあれば、「こんな表情するんだね」と写真に残っているからこそ気づかされる表情の写真もあります。一年の中でも、「はじめのころはそうだったね～」などと子どもの変化を確認でき、写真にもたくましさを感じられたりしています。

年長さんは、いま卒園式の練習をしています。ここで過ごした時間の総まとめです。職員たちは、気負いすぎずに子どもの最後の節目の式になるよう、こうしたらどうだろうと工夫しながら学園みんなで創っています。

そして、卒園記念はアルバムです。利用期間も様々ですが、ももグループを2回経験するという4年間通い続けたお友達のアルバムは、本当にちっちゃい時代の様子から、職員は、あのころに引き戻されます。こんなにちっちゃいときから学園という場所を選び通わせたご家族の思いを、もう一度考えました。本当に通い続けてくれてありがとうございます。「あのころはパパの協力ないからしんどい」って話してたのに、アルバムにはたくさんパパとの写真がありました。ほんとによかった。アルバムの写真を見ながら、職員たちは、こどもの数年分の話が始まります。「親子グループの時はほんとによく泣いていたよね～」「あの頃は警戒されて、職員の手は、はらいのけられたんだよね～」「みどりになって秋頃からグーンとからだしっかりしてきて、今では教室からプレールームまで自分で椅子を運ぶことを楽しんでやっているんですよ」今と昔を行ったり来たりしながら話が尽きません。

子どもたちが主人公になる場・なれる場をどれだけ提供できたのか。そこに療育という一人ひとりを丁寧にかわる意味があると考えます。“一人で主人公に・仲間とともに主人公に・大人や様々な人とやり取りしながら主人公に”この視点を大事にすることをアルバムを見ながら深く感じさせられました。

新しい環境の中でも「いろいろな主人公になる」につなげたいと考えています。

今年度も学園の事業にご理解ご協力いただきましてありがとうございました。
今後も忌憚のないご意見を頂けますようよろしくお願い申し上げます。

施設長 松本 知子





新年度ガイダンスのお知らせ

進級児保護者の皆様へ

日 時 平成25年4月2日（火） 14:00～15:30

場 所 集会室

内 容 年間行事予定配布、重要事項説明確認、担任発表等

その他 欠席される方は生活記録表、電話等で3月25日（月）までにお知らせ下さい。

お話が中心になりますので、保護者の方のみでの参加をお願い致します。

お子さんを預ける手段がない方は3月26日（火）までにお申し出ください。

4月2日、ガイダンスの日に4月の利用予定をお渡しいたします。また、当日は印鑑を持参して下さい（重要説明事項で使用します）。

*不明な点は担任まで確認をお願い致します。



当面の予定

4月 2日（火） 新年度ガイダンス（進級児対象、重要事項説明、利用予定表の配布等）

4日（木） 入園式（進級児は休園）

5日（金） 始業式、新入園児療育開始（母子通園～11日）

9日（火） 内科検診（ももグループ）

11日（木） 避難訓練

12日（金） 内科検診（きい・みどりグループ）

15日（月） 短縮日課（～17日）

25日（木） 親子療育スキップ 親子で歩く・お弁当を食べる

30日（火） 誕生会



始業式

4月 5日（金） 11:10～11:40

プレイルームで行います。

持ち物

雑巾1枚、手拭きタオル1枚、ティッシュペーパー1箱

防災ずきん、着替えストック（服、ズボン、下着等必要に応じて）

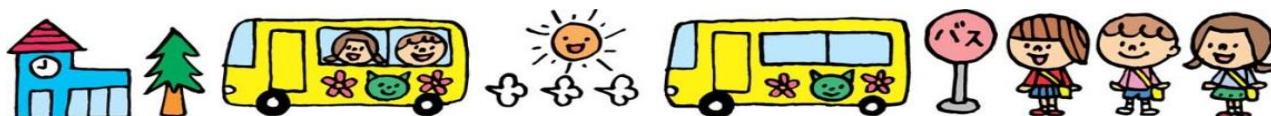
上靴、プレイグラウンド用外靴（ももグループのみ）



お知らせ バス停について

新年度、新入園児を迎えるにあたり、バス停の変更に協力いただく場合があります。

その場合は春休み期間中に電話連絡を致します。連絡のない方に変更はありません。詳細は新年度ガイダンスでお知らせ致します。3月27日～4月4日までの9日間は春休みです。万が一、事故・ケガなどありましたら、連絡をお願い致します。





三方原親子交流



2月18日(月)三方原幼稚園にて、親子交流が行われました。はじめの会では、幼稚園の先生に名前を呼ばれて「はい！」と元気に返事をして前に出て行く子や、笑ってうつむきながらも、恥ずかしそうに手を挙げる子がいました。

幼稚園の友達にお財布をもらった後は、いよいよメイン活動の「おみせやさんごっこ」です。1階と2階、それぞれ3つのお店屋さんがあり、幼稚園の友達がお店屋さんになり、「いらっしゃいませー！」と元気よく声を上げて、お客さんを呼んでいました。子ども達は自分でお店を見て回ったり、チラシを見ながら「〇〇くんの好きなだしがやさんがあるよ！」等、お母さんと話しをしながらお店をまわっていました。買い物の時には、幼稚園の子に「これもあるよ！」とカブトムシの人形を手渡されると、嬉しそうに受け取ってお母さんと一緒にお金を渡したり、買った品物をたくさん身に付けてニコニコしたりしている子どもたちの姿がたくさん見られました。中には、用意された沢山の品物の中から自分の好きなラーメンを手に取り「これくださいー」と言って品物を渡し「ありがとー」とお釣りを受けとることができる子もいました。

お母さん達からは「品物がすごくよくできていて、私も一緒に楽しめました」「簡単そうなので家でも作ってみたい」との感想をいただきました。子ども達の手作りの品を使い、楽しくやりとりができるお店屋さんごっこを学園流にもアレンジし、日々の療育に生かしていきたいと思います♪



三方原幼稚園来園交流

2月22日(金)に今年度最後の三方原幼稚園来園交流が行われました。三方原幼稚園からは年中のお友達が来園し、学園からはきいGとみどりGの子ども達が参加しました。

『はとぽっぽ体操』で準備運動をした後、「位置についてよーい、ピー！」と笛の合図でマラソンがスタート。「いっちに、いっちに。」という職員のかけ声に元気に走り回る子ども達。身体が温まってきたところで、ピンク、黄色、みどりそれぞれ同じ色の帽子を被ったお友達同士に別れて手をつないで活動に入りました。

今回のメインの活動はボール運びリレーです。4人で手をつないでスタートし、ボールが乗った布をボールが落ちないようにペースを合わせて運び、コーンを周って戻ってくるというものです。リレーの前には同じチームのお友達と一緒に頑張るぞと雰囲気作りをして盛り上げるために、模造紙に縁取りして描いた果物の絵の中に、子ども達がお花紙をくしゃくしゃ丸めて貼り付けるワンポイントを行ったことで、同じチームになった幼稚園の子と学園の子の間に一体感が生まれ、幼稚園児が学園の子の手を取って手をつなごうとしたり、お互いにボールが落ちないようにゆっくりと歩こうとしたりする姿が見られました。今回は向かい合ってお互いの顔が見えるということで、お友達を意識することができた姿に成長を感じました。また、最後の組が終わるまで「頑張れ、頑張れ！」や「落ちない様に、落ちない様に！」と声をかけ合って応援する姿が印象的でした。

最後は幼稚園のお友達から『虹のむこうに』の歌のプレゼントを頂きました。歌いながら振り付けもあり、学園の子ども達がそれを真似して手を動かす場面もありました。「楽しかったよ。」「またね。」とタッチをし合っ子ども達の笑顔で幕を閉じた来園交流でした。





お別れ遠足 ♪ ♪



ももグループのお別れ遠足は、リトミック（雨天プログラム）と外食体験に行きました。リトミックでは、“お母さんも一緒に身体を動かす”ということを意識して取り組んでいただきました。一緒に、鈴を持ちリズムを刻んだり、ジャンプしたり、走ったりすることで、いつもより少し賑やかな雰囲気でした。しかし、見本が自分のお母さんという事で、とてもよく見て取り組めていました。

リトミック後は、学園バスに乗り、浜北の回転ずし「鮮たろう」に行きました。1テーブルに2～3家族ごと座り、「外食はあまりしない」「回転ずしならよく行く」「〇〇くんたまご取って～」など、様々な話をしながらたのしく食事をしました。今回、雨天により電車に乗ることはできませんでしたが、「みんなで外食をする」という目標は楽しく達成できたのではないのでしょうか♪

きいグループは、バスと電車を利用してボーリングへ出掛けました。

バスでは先日の父親参観の時は‘降車ボタン’に興味を持ち押してしまう子がいました。お父さんたちは、ボタンを押さないように「これは、大事だぞ」「触らない!」と声をかけながら手を握ったり、ボタンを手で隠して子どもがボタンを押さないようにしていました。その経験があってか落ち着いて乗車していました。椅子に座り窓のサッシに手をかけて外の景色をみたり、お母さんの膝の上で座って話をする姿が見られました。

バスや電車を使う機会が少ないので、電車を始めて乗る子は、表情が固くお母さんの隣に座り手を力強く握っています。先頭車両から進行方向の景色をお母さんと一緒に覗き「わ～!!」と喜びの声をあげたりしました。昼食はバイキング形式でした。お母さんとお皿を持って並び、指差しや「コレがいい!」等のやりとりをしながら好きなものをもって食べました。

その後は、ボーリングです。始めて経験する子もシューズを履いて準備完了。いざ、ボールを手にとるととても重くて転がすのも一苦労。ボールがピンまで転がる子もいれば勢いが弱くて途中で止まってしまう子もいました。しかし、自分の投げたボールをじっと見る子や両手を合わせて祈る子もいました。ピンが倒れるとジャンプして喜んだり、同じレーンの子とハイタッチする子がいたりとみんなで一つ一つの出来事に対して一喜一憂する時間になりました。途中で走り出したりする子もいましたが、みんなで楽しい時間を過ごせました。

初めてのことに挑戦する時、一歩踏み出すことは大変だと思いますが、経験を積み重ねるなかで子どもたちも学んでいます。その中でも楽しい思い出は子どもたちに伝わりやすいと思います。また今後の生活のなかで、親御さんと共に楽しみながら色々経験をしてもらいたいと思います。1日お疲れ様でした。



みどりグループ前日の雨と当日のあいにくのお天気で雨の日の予定でのお別れ遠足となり、アクトタワーの展望台に登りました。展望台へ向かうエレベーターに乗ると無言で動かす下の景色ををじっと見つめる子や「トミカみたい」と言う子などリアクションは様々でした。朝の時点では「アクト嫌だ!公園行く!」と言っていた子どももいましたが、展望台に着いたときにはみんなすっかり遠足を楽しんでいました。その後、昼食を食べに行くため、浜松駅から電車に乗って新居駅へ行きました。切符を買ったり、改札に切符を通すことを初めて自分でチャレンジした子もいました。昼食では待ち時間が長くても、お母さんが「〇〇くんのメニューは〇〇セットだよ」など声をかけることで落ち着いて待つことができました。帰りの電車の中では空席が少なく、半分の子ども達が立って乗ることになりましたが、お母さんや職員と「アクトすごかったね」「ご飯おいしかったね」などお話をしながら、景色を楽しんで乗って行くことができました。





根洗学園に来た実習生・ボランティアさん

今年度も多くの実習生・ボランティアさんが学園に来てくれました。実習生・ボランティアさんが部屋に来ると、子ども達はニコニコ笑顔でかけ寄っていきます。また青空クラブでは、親御さんから「お兄さん達と楽しくたこ作り、豚汁作りができて楽しかった。」と感想がありました。来年度も多くの実習生やボランティアさんとあそび、子ども達の笑顔がいっぱい見れるといいですね。

24年度実習生・ボランティアさん延べ人数（外部からの研修含む）



	実習	ボランティア
前期	314人	143人
後期	67人	81人
合計	381人	224人



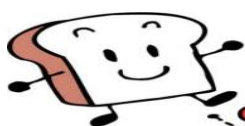
実習生・ボランティアさんの感想

- ・自分が想像している子どもの姿、子どもに対する自分の想いが現場に出て、大きく変わった。
- ・1人ひとりの発達のスピードが違うため、その子にあった支援をしていくことが大切だと感じた。
- ・緊張しましたが、話しかけたら笑い返してくれたのでとても楽しく過ごすことができました。
- ・実習前はとても緊張しましたが、皆笑顔が可愛らしく、楽しい気持ちで実習を終えることが出来ました。
- ・自分で出来る力や気持ちを考えて接していくことが大切だと感じました。

学園に協力してくださったボランティアさん

- ・聖隷クリストファー大学ボランティアサークルの学生さん ・ゆうゆう塾さん
- ・赤とんぼ連さん ・育成会のみなさん ・でんでん虫の会さん
- ・根洗町婦人部のみなさん

本当にたくさんのご協力とご支援、ありがとうございました。



給食交流



11月からたてわり活動の一つとして給食交流を行ってきました。自分のグループのお部屋で他グループの友達と食べる日もあれば、いつもと違うお部屋に行ってお食べることもありました。苦手な物をチャレンジする時に「がんばれ！！〇〇くん！！」とテーブルの先生がコールを始めると、隣のテーブルの友達からの手拍子が加わり、教室全体からがんばれコールや手拍子が沸き起こりました。応援に答えるようにその子も苦手な物を「パク！」っとチャレンジし、みんなから拍手があがりました。その様子を見て、他のグループの子も「せんせい、みててね！」とチャレンジする姿がありました。また、ピカピカになったお皿を持って「見てみて～」と他グループの先生や友達に見せ、誇らしげな表情をする子もいました。

いつもと違う雰囲気緊張していた子も、回数を重ねていくうちにニコニコしながら教室に入れるようになり、苦手な食べ物にチャレンジする時に他のグループの友達や先生に見てもらうことを励みにしてチャレンジ出来たり、いつもと違う雰囲気の中で見られた育ちがありました。

いつでも・どこでも・だれとでも力をつける活動の一つとして、また来年も行いたい取り組みです。



青空クッキングクラブ



2月23日(土)今年度最後のクッキングクラブがありました。その日は、30家族(大人38人、在園児・卒園児・転園児・OB41人)ボランティア24人の計103名が参加してくれました。

はじめの会の後、各部屋に別れて豚汁作りです。家庭から持ち寄ったまな板と包丁で、にんじんやだいこんを切りました。お母さんやボランティアのお兄さんと一緒に包丁を持ってじっと食材を見ながら切る子や、いつもお母さんのお手伝いをしていて包丁を持って「トントントン♪」と一人で上手に切る子もいました。材料が切れたら、中庭の大きなお鍋に切った食材を入れに行きます。そおとお鍋の中を見て、お鍋から上がる湯気や、かまどの火の熱さを感じながら、子ども達は自分の切った食材を「ザバー！」とお鍋に入れていました。

豚汁ができあがるまでの時間はへびだこ作りです。画用紙に自分の好きなシールやクレヨンで絵を描いて、お母さんやボランティアさんと一緒に画用紙にかかれた渦巻に沿ってハサミを入れていきます。ゆっくり切っていても、上手に切れなくて途中で嫌になってしまう子もいましたが「ここまで頑張ったらへびさんできるよ」とお母さんに励まされたり、「お兄ちゃんが手伝ってあげるよ」とボランティアさんに声をかけてもらい、最後まで頑張って、みんながへびだこを作り、外でいっぱいあそぶ事ができました。

たくさん身体を動かして、お腹が空いてきたところに「豚汁できたよー！」と声がかかりました。お部屋に戻って手洗いうがいをした後は、待ちに待った豚汁です。お椀の中の野菜を見て「これぼくのー！」と自分が切ったことをアピールする子や、苦手な人参もお母さんと「これだけ食べようね」と約束して食べたり、一緒に豚汁作りをしたボランティアさんに「あーん♡」と豚汁を分けてあげている子もいました。

お母さん達からは「身体をたくさん動かして、豚汁もお腹いっぱい食べれました」「みんなで作った豚汁は格別でした」「ボランティアのお姉さんにたくさんあそんでもらって満足げでした」との感想をいただきました。みなさん、ご参加ありがとうございました。



手作りクラブ



3月12日(火)、今年度最後の手作りクラブが行われました。今回は誕生会の中で、お母さん達が今年度作ってくださった作品の紹介を行いました。お母さん達は、タンバリンを叩いたり鈴を鳴らしたりと、楽しそうにリズムに乗りながら子ども達の目の前に登場しました。子ども達はそれに合わせて手を叩いていました。

今年度の作品は、季節の壁面とベンチシートと、現在制作中の大型紙芝居です。子ども達が大好きな『しょうぼうしゃのダッシュくん』を少し披露して下さいました。消防車のサイレンが鳴って、子ども達は身を乗り出して見ていました。制作の続きは、来年度の活動に継続させていただきます。

今年度の手作りクラブは10回実施し、計77名(OB11名・在園児66名)のお母さん達が参加してくださいました。一年の振り返りの中で「1ヶ月に2回活動があればどちらか日程を選んで参加しやすい」「職員が参加することで活動が進みやすかった」等、お母さん達が感じたことが話されました。

今年度参加して下さったお母さん方、ありがとうございました。来年度もたくさんのお母さんの参加をお待ちしています。

音あそび



ももグループ

3月13日（水）のももグループ音あそびの様子をお伝えします。今回は、「輪ゴム」と「トレー」を使い、トレーにかけたゴムを弾き、音に耳を傾けるといった内容でした。これは、6月に行ったものと同じ内容でしたが、子ども達の「音を楽しむ姿」には、変化が見られました。以前は、音や内容に興味のなかった子が、自発的に輪ゴムを弾いて音を奏で。以前は、一人で楽しんでいた子が、友達・先生を誘って人と音を奏で。6月の頃の「独奏」から「合奏」へと、「聴く」から「聴いて」へと気持ちの変化が感じられる内容でした。



きいグループ

3月6日（水）に今年度最後の音あそびを行ないました。今回は、新聞紙を使ってあそびました。朝、お父さんやお母さんが新聞を読む姿を見ていると思います。紙をめくる時の音等、何気ない動作の音を今回はじっくり聞き実際に音を出してみました。

始めは、新聞紙を破る・丸める・振る等の動作を職員が子ども達の前で見本を見せました。職員が子どもの耳元でビリビリと破ると、下を向いていた子が音に反応し、顔を上げる姿や、新聞紙に手を伸ばしてやりたいことを伝えて来てくれたり、「次は、ぼく！」とやりたそうでした。

職員が見本を見せ、実際に子ども達に新聞紙を渡すと、新聞紙を縦や横に破いたり、小さく丸めたりと自分が気に入ったものを見つけ、あそぶことができました。中には小さく破ると音の長さが短くなることを発見した様子で、何度も何度も小さく破く姿も見られました。

新聞紙で兜を作るなど物を作る楽しみだけでなく、新聞紙を破ってみたり、丸めてみたりしてぜひ、お子さんと音も楽しんでみて下さい。



みどりグループ

3月5日（火）みどりグループで音あそびがありました。松岡先生が、この日用意してくれたのは新聞紙。松岡先生が「ビリッビリッビリビリッ」とリズムをつけて破ると、子ども達は静かにじっと松岡先生の手元を見つめていました。いつもみていた新聞紙が立派な楽器になったのです。

松岡先生から新聞紙が配られ「みんなもやってみよう！」と声がかると「くしゃっ」と丸める子、「ビリビリッ！」と豪快に破く子がいました。キリンの部屋いっぱいに新聞紙が広がると、子ども達は紙切れを両手いっぱいに集めて、天井に向かって思いっきり投げたり、友達同士で新聞をかけあったり、先生と一緒に新聞をくしゃくしゃ丸めて音を楽しむ子がいました。中には、隅っこにいた友達に新聞をかけて顔を覗き込みながら笑顔で楽しんでいる姿もありました。

今回で、みどりグループは最後の音あそびとなります。3年間音あそびを行ってくださった松岡先生からは「みんなほんとに、静かに聴ける力が育ってお兄さんお姉さんになりましたね」と言って頂きました。



アート



きいグループ

3月11日（月）アートを行ないました。

今回は、「いろいろな素材に触れよう」をテーマに自分だけの“グッズ作り”を行いました。そうの部屋に入ると、端から端へ吊るされた紐や、その紐からぶら下げられたバケツ、大人が2人くらい入ってしまいそうな大きな袋などがありました。深澤先生が道具を持つ手を追って見ている子や早く道具に触りたくて泣けてしまう子もいました。初めは“物と物を組み合わせて何かを作る”という発想がなかなか持てず、ボールは投げてあそぶもの、スポンジは洗うものという考えが子ども達の中にも強くあるようでした。しかし、深澤先生が「大家族用だぞ〜！」とコップにたくさんのストローを刺したものを見せると真似をして同じものを作ったり、綿を洗面器の中に入れて「泡だよ〜」と言いながらかき混ぜたりする様子もみられ少しずつ子ども達のアイディアが生まれてきました。紙粘土でペンたてをつくったり、綿や毛糸を頭にのせて髪の毛を作るなどたくさんのグッズができあがりました。

アートでは、1年間を通して子どもの発想に任せて自由に行っていました。その中で与えられた素材からそれぞれがイメージを持って取り組むことができるようになってきたことを感じ嬉しく思います。これからも子どもたちの発想を共有しながらあそびや活動を行っていきたいと思います。



みどりグループ

3月11日（月）に最終回のアートがありました。今回のアートでは「画用紙に絵を描こう」ということでペンと色鉛筆とクレヨンを使いお絵描きをしました。両手でクレヨンを5本ほど握りグリグリとダイナミックに描く子、クレヨンを持ってトントントンと点を描く子、イメージしながら車や動物を描く子がいたりさまざまです。画用紙だけでは物足りず手や顔にボディペイントを始める子もいて、その様子を見て、また違う子もボディペイントを始めたりと子ども達の間に楽しさが伝染していきました。



普段の造形のようにテーマや見本がないので、好きな色を選び自由に描けるアートではのびのびとその子らしさが前面に出た作品ができあがりました。



★工事のお知らせ★

3月21日（木）～27日（水）までトイレの和式を洋式に変更する工事を行なっています。上記の期間中は、きいグループ・みどりグループの大人用トイレが使用できません。修了式・卒園式とご迷惑をおかけしますが、ご協力お願い致します。

